



議会だより

今回の題字は、^い ^ぎ 井木 ^{あかり} 茜里 さん（八千代小学校6年生）です。



OVER THE TOP ~限界を超えて~

演目 男子全員騎馬戦(高宮中学校運動会)

9月定例会 2~3	地域懇談会報告 20~23
29年度決算審査 4~6	高校生との意見交換会 24
常任委員会報告 8~12	あんな こんな 地域のかがやき 26
一問一答 13人が市政を問う 13~19		



安芸高田市
市議会のページ

認

定

29
年度決算

- 市内中学校と保育所の遊戯室へのエアコン整備
- 八千代地区・甲田地区の小学校統合
- 「生活支援員」制度
- 本庁第1庁舎耐震化工事
- 「道の駅」整備事業などへの取り組み

9月定例会

9月定例会を9月6日～28日までの会期で開催しました。

一般会計を含む10会計の29年度決算は、予算決算常任委員会へ付託し、本会議最終日において、すべて全員賛成で認定しました。

(決算審査は4～6ページに掲載)

一般会計補正予算など16議案(うち議員発議1件)を、いずれも原案のとおり可決しました。(補正予算審査は7ページに掲載)

一般質問では、13人が市政を問いました。(13～19ページに掲載)



本会議の議決風景

■認定第1号

○平成29年度安芸高田市一般会計決算の認定について

■質疑

熊高 指定管理の施設運営が厳しい状況になっているという報告が市よりあったが、監査委員の立場からどのような視点を持たれているのか。

■女鳥監査委員

監査は、実施期間を確保しにくく対象も限られるなか、毎年度計画を立て行っている。

監査の目的は、民主的・法律的な行政執行が確保され、住民の福祉の増進に寄与することである。

■討論

■賛成

山根 自主財源となる賦課徴収事業では計画値を大きく上回る実績があがっている。今後も、事業の継続・転換・廃止などをにらみつつ、行財政改革が進むことを期待する。

■採決

全員賛成

一日も早い復旧を

災害復旧費

応急工事・災害廃棄物処理など
専決処分 2億 3684 万円

(専決処分月日 7月30日)

一般会計補正予算 総額 29億 4958 万円のうち
災害復旧関係費 24億 9045 万円

承認・可決

■承認第4号

○専決処分した事件の承認について

■討論

■賛成

玉重 市の財政状況も大変厳しいなか、財政調整基金を繰り入れて、早急に現場対応をされたことに感謝する。

■採決

全員賛成

■議案第65号

○平成30年度安芸高田市一般会計補正予算
(第3号) エコエム

■討論

■賛成

山根 今後は、補助金においても、将来的な経営や効果をはかり、しっかりとした計画を立てたうえで、の予算化とし、安芸高田市の生き残りをかけて取り組む姿勢を貫かれることを期待する。

■採決

全員賛成

■諮問(2件)

○人権擁護委員の推薦

中本 吉徳 さん

八千代町上根

藤田美佐子 さん

吉田町吉田

承認

■発議(1件)

○JR芸備線・福塩線の早期復旧に関する
意見書(エコエム)

長期にわたる運休が見込まれているJR芸備線・福塩線は、通学、通勤、医療機関への通院といった市民生活の維持、企業の生産活動等に不可欠な鉄道路線であり、生活交通としての利用者のほか、観光客等への影響も大きくなっている。

一刻も早い復旧及び運行可能となった区間の早期の一部運行再開のため、鉄道事業者に対する配慮及び復旧に係る地方自治体の負担に対する財政措置等、あらゆる支援を要望する。

全員賛成

※国・県の関係機関へ提出する。

認
定

歳出総額 310億5548万円

予算決算常任委員会

9月6日の本会議において審査を付託された29年度一般会計・特別会計・公営企業会計決算を9月20・21日の2日間委員会を開き、慎重に審査しました。

委員長 青原敏治
副委員長 玉井直子
委員 議長・監査委員を除く全議員

主な質疑

■ 一般会計 ■

■ 総務部

Q 本庁舎や各支所、教育関係施設で多くの維持管理費が出ている。行財政改革として消防設備点検、電気設備保安業務、エレベーター保守点検などを統一して委託する考えは。

予算決算常任委員会委員長報告(抜粋)

29年度普通会計の決算規模は歳入歳出ともに前年度決算額を上回るものとなった。

財政指標は24年度から27年度にかけて減少傾向であったものが、28年度から29年度にかけて増加傾向となっているが、これは学校規模適正化に伴う統合小学校整備などの普通建設事業費が増加したことに加え、繰上償還を含めた公債費が増加したことが要因となっている。

取り組もうとしているのか。

A 法律で定められた保守点検は大規模施設であれば行う必要があり、どの施設でも同様に行っている。

現在、包括業務委託の先進事例を研究しており、今後検討する必要がある。

■ 企画振興部

Q 企画調整事業のなかで、移住定住の取り組みを目指すための庁舎内の横断的な連携や市民等との協力をあげているが、何を課題とし、どのようなことを

A 移住や仕事の相談窓口となる課の担当や課長と月2回程度情報共有の機会を設けている。この共有により窓口対応がしつかりできると考えており、継続して取り組むとともに連携の窓口をふやす必要があると考える。市民との連携は、民泊や体験活動をいただく方とワークショップを行うなかで、横のつながりができ協力体制につながるかと考えている。



ワークショップの様子

29年度決算

一般会計・特別会計 歳入総額 321億4301万円



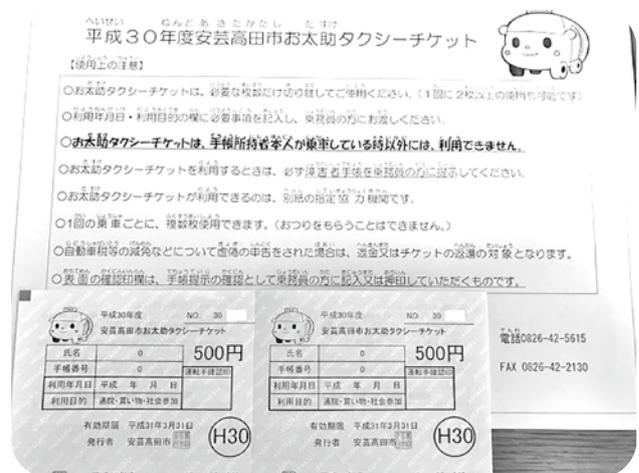
多言語で作成されたごみの分別表

■市民部
Q ごみステーションで、外国人住民のごみ分別について苦情を耳にする。多文化がさらに進めば問題がふえると思われるため、住民窓口で、ごみ分別の広報物を渡すなど、関係窓口と連携して外国人

の方への周知を徹底できないか。
A 外国人の方が転入手続等で来庁された際には、関係窓口と連携し、外国語表記のごみ分別表といった広報物を渡すなどの対応を徹底したい。

■福祉保健部
Q お太助タクシーチケットの交付割合が6割に満たない状況であるが、現状はこれだけののか。
A このサービスは、年度当初において対象と思われるすべての方に勧奨通知を送り、必要とする方から申請を受けて交付しているため周知はできているものと思っ

ひゃくちゅも
○ 一般会計
通常の行政事業の範囲で毎年必要となる経理
○ 特別会計(8会計)
一般会計から切り離して独立して行われる経理
・ 国民健康保険
・ 介護保険
・ 公共下水道
など



お太助タクシーチケット

産業振興部

Q 田んぼアート事業実施計画を策定しているが、この計画はいつごろ策定されたものが。また、29年度はこの計画に基づいて事業が実施されたのか何う。

A 事業実施計画は29年度末に策定されたものであり、本年度よりこの計画に基づいて事業実施している。29年度は田んぼアート事業が周遊性促進に効果的であることの実効性を検証するため、青森県の田舎館村等の視察を実施している。



道の駅いなかだて
第2田んぼアート展望所



青森県田舎館村役場（第1会場）
田んぼアート圃場での田植え作業

教育委員会

Q 学力向上推進事業において、英語検定3級以上の生徒の割合が、25%の計画に対し、実績が39.8%となっている。割合が上がった要因について何う。

A 英語検定受検費用の公費負担を行っており、生徒の受検機会を作ったこと及び、英語指導助手とのふれあいを含めた勉強を進めたことにより、相乗効果として結果がでたものと考えている。



公費負担事業による英語検定受検風景

30年度補正

既定の予算総額に29億4958万円を追加
 (一般会計総額 240億2434万円)
 災害関連に24億9045万円

可決

建設部

Q 今回の災害で、かなりの事業費に なっている。地元 業者に請け負って ほしいが、業者は 足りているのか。
 A 被害が大きく業 者の不足が想定され るため、県では通常 事業を停止してい る。今後、復旧工事

の発注となるが、県 から技術者に関する 規制緩和の方向性が 示されたので、県の 動向を見ながら、で きるだけ地元業者に 発注できるようにし たい。

Q 災害協定を結 んでいない建設業 者との入札等は、 問題なく対応でき ているのか。
 A 災害発生後の 緊急対応は協定を 結んだ業者に依頼 したが、今後の復 旧は、協定等に關 係なく入札を行う 予定である。

歳出(災害関連)

単位:千円

事業名	金額	内容
災害対策費	32,395	○災害派遣職員負担金ほか
公有財産等復旧事業費	14,479	○戸島生活改善センター進入路擁壁復旧工事ほか
農業用施設等維持活動支援事業費	53,000	○農業用施設等補助金(小災害復旧)
小規模崩壊地復旧事業費	7,000	○山腹崩壊箇所応急仮工事
農地災害復旧費	98,000	○農地災害復旧工事ほか
農業用施設災害復旧費	447,480	○農業用施設災害復旧工事ほか
林業施設災害復旧費	210,000	○林道施設災害復旧工事ほか
水道事業会計事業費	15,000	○上水・簡水施設修繕ほか
土木施設災害復旧費	1,613,100	○土木施設災害復旧工事ほか
合計	2,490,454	

特別会計

国民健康保険、水道事業等の8件の特別会計は、4月の人事異動に伴う職員給与の調整や災害復旧に伴う予算の計上 が主なもの。

修正動議

「議案第65号 平成30年度一般会計補正予算第3号」について、「神楽門前湯治村改修補助金は、正式な経営診断を行ったのちに計画的に予算化するべきであるため、この経費



応急工事現場

討論

を削除すべきである」との内容の修正動議が提出された。

① 修正案は理解するが、今後の取り組みを十分に行うとの答弁もあり、原案に賛成。

② 経営課題等、議論は必要。しかし、空調が壊れれば、売り上げへの影響もあり、当面の空調設備の改修であるので原案に賛成。

原案可決

総務企画常任委員会

9月13日に委員会を開き、議案5件を慎重に審査しました。

(主な審査)

- 安芸高田市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
 - 財産の取得について(ふれあいたかた産直市)
 - 安芸高田市産地形成促進施設「ふれあいたかた産直市」設置及び管理条例
- ほか2件

- 委員長 穴戸 邦夫
副委員長 山根 温子
委員 菅田 宏治
石飛 慶久
塚本 近
先川 和幸

改正に伴い行政嘱託員の行政区全体調整業務分の報酬年額を3割カット 1000円を700円に減額

■概要

現在の嘱託員制度は残しながら、新たに嘱託員業務を地域振興会等に担うことを自由に選択できるように制度を改正するもの。

■質疑

先川 行政嘱託員の報酬年額1000円を700円に3割カットした根拠は何か。

高藤総務課長 地域の取りまとめを嘱託員にお願いしてきたが、近年かなり少ない件数となっている。700円が妥当かは今後検討の余地はあるが、今回、嘱託員制度の業務を委託制度に移すと新たな業務も発生してくる。その兼ね合いで、3割カットは必要と判断しカットしている。

塚本 広報紙を嘱託員が個々に配るのでなく、逆に市民の皆さんが取りに来ると

いうことも将来的には考えていかなければならない時期が来るのではないか。

■高藤総務課長

これも配付物は少なくするためにお太助けフォンなどを使って枚数を削減してきたのが現状である。ホームページ等もあるので、今後は皆さんに見てもらえる媒体を活用しながら枚数を減らすことも考えなければいけない。

石飛 振興会においてくれば、負担のある人に委託料の一部を支払うことになると思うが、源泉徴収事務は誰が行うのか。

高藤総務課長 支所と税理士とで整理する仕組みを考えている。それにかかる費用は、報酬をカットした金額を充てるよう考えている。



ふれあいたかた産直市

「ふれあいたかた産直市」設置及び管理条例

■概要

「ふれあいたかた産直市」を公の施設として設置及び管理するため、地方自治法第244条2第1項の規定に基づき議会の議決を求めるもの。

■質疑

先川 設置及び管理条例は道の駅開業のための取得と一連した条例等となっているが、道の駅が2年後に開業となった時に設置・管理条例は生きているのか。あるいは新たに全体の道の駅に関する設置管理条例ができるのか。

行森政策企画課長

本条例については道の駅が開業するまでの期間としている。道の駅が開業すると、新たな道の駅の設置管理条例を設置し、道の駅運営会社がテナントとして参入してもらおうような手法をとって運営していくことになる。

先進地視察

おおだし 大田市 (鳥根県) とよおかし 豊岡市 (兵庫県) ちづちょう 智頭町 (鳥取県)

8月21日～22日

	視察地	視察テーマ	特徴
鳥根県	大田市 人口:35,317人 世帯数:15,762世帯 面積:435.71km ²	◇定住促進の取り組み 	◇平成18年を定住促進元年としてスタート。21年度より定住支援員を配置し、ふるさと情報の発信、就業支援、居住支援など種々の定住対策を推進しており、「2015第3回日本住みたい田舎ベストランキング」で総合1位を獲得している。
兵庫県	豊岡市 人口:82,624人 世帯数:33,173世帯 面積:697.55km ²	◇定住促進の取り組み 	◇豊岡市を担うべきターゲットとして、移住定住希望者をモノづくり志向、教育移住志向、地域(社会)貢献志向など、7つの志向タイプに分け、移住定住促進支援情報誌「飛んでるローカル豊岡」を中心に情報発信に力を入れている。
鳥取県	智頭町 人口:7,154人 世帯数:2,731世帯 面積:224.70km ²	◇移住・定住の取り組み 	◇町の総面積の93%を森林が占めており、人口減少、少子高齢化が進んでいく中で、住民発案の事業として「森のようちえん」など、森林を子育てのフィールドとして再評価する機運が高まっている。住民自治意識の高い町。

まとめ

移住・定住対策に積極的に取り組んでいる先進的な3市町の視察研修を行った。3市町とも地域の資源を見つめ直し、まちの特性を生かした事業を展開している。また、移住定住施策の情報発信に特に力を入れているのが印象的であった。

全国的に人口減少が進んでいる中で、短期間で人口減少対策に成果を期待するのは難しいと思うが、地域の歴史や文化などの特性を生かした継続的な取り組みの中でまちの新たな活力が生まれてくると思う。

文教厚生常任委員会

9月18日に委員会を開き、請願1件、要望1件を慎重に審査しました。

(審査した請願)

甲田町高田原下長屋地区に計画中の安芸高田市甲田町高田原産業廃棄物最終処分場建設許可差し止めに関する請願書

(審査した要望)

「精神保健、福祉施策」に関する要望

委員長 秋田雅朝
副委員長 前重昌敬
委員 玉井直子
児玉史則
青原敏治
水戸眞悟

請願

甲田町高田原下長屋地区に計画中の安芸高田市甲田町高田原産業廃棄物最終処分場建設許可差し止めに関する請願書

〔紹介議員〕 金行哲昭・宍戸邦夫・玉井直子

〔請願者〕 甲田町高田原下長屋地区産業廃棄物最終処分場建設反対常会代表者連絡協議会

〔要旨〕 建設されようとしている産業廃棄物最終処分場は、アスベストなど有害物質を含有する廃棄物の持ち込みが計画され、大土川下流域や周辺に暮らす住民の環境と生活が将来的に蹂躪される危惧が大であるため、当該施設の建設を許可しないよう関係機関に働きかける請願。

〔審査結果〕 継続審査とした。

要望

「精神保健、福祉施策」に関する要望書

〔要望者〕 あきみのり会（旧精神障害者家族会）代表 平本和昭

〔要旨〕 障害者支援制度における以下の改善への取り組み。
・全ての障害者の費用負担が同等になるよう格差の改善
・当事者の実情にあった交通手段での算定方法の見直し

〔審査結果〕 継続審査とした。

先進地視察

たけおし 武雄市 (佐賀県) やないし 柳井市 (山口県)

8月22日～23日

	視察地	視察テーマ	特徴
佐賀県	<p>武雄市 人口：49,062人 世帯数：16,932世帯 面積：195.40km² 高齢化率：28.7%</p> <p>(H27 国勢調査)</p>	<p>◇子どもの貧困対策課について</p> <p>◇子どもの未来応援プロジェクトについて</p> <p>◇就学・就職のための給付・貸与制度について</p> 	<p>〔子どもの貧困対策課について〕 ◇孤立する家庭をなくし、基本的な学力・生活習慣等広い意味での教育を中心に「未来を生き抜く力」を身につけ「自立できる子ども」を育てることが重要で、より横断的、多面的に連携できる組織体制づくりによる「子ども貧困対策課」の設置。</p> <p>〔子どもの未来応援プロジェクト〕 ◇すべての子どもの希望の実現に向けて「武雄市子どもの貧困対策実行計画」を策定し、中長期的な視野で継続的に取り組んでいる。</p> <p>〔就学・就職のための給付・貸与制度について〕 ◇市独自の「給付・貸与制度のご案内」パンフレットを作成し、児童、生徒等含め市民への活用を促している。</p>
山口県	<p>柳井市 人口：32,945人 世帯数：14,170世帯 面積：140.05km² 高齢化率：36.6%</p> <p>(H27 国勢調査)</p>	<p>◇コミュニティ・スクールについて</p> 	<p>◇「行きたくなる学校づくり」を目指したコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は、地域のネットワークづくりに取り組むため、見直しを図り効果的かつ共同的に行うことが可能となり、学校を中心とした地域づくりと学校応援団の自然な広がりが見られるようになった。</p>

まとめ

- 日本の未来を担っていくのは、今を生きる子ども達である。「**貧困の連鎖**」を断ち切り、広い意味での「教育」を中心に「**未来を生き抜く力**」を身に着け、**自立できる子育て施策**が必要である。
- 地域と学校が一体となって学校運営=コミュニティ・スクール**を行うことにより、結果として「**人づくりまちづくり**」に繋がるように取り組んでいくことが重要である。

産業建設常任委員会

9月19日に委員会を開き、議案1件を慎重に審査しました。

(主な審査)

○安芸高田市上下水道料金改定に伴う関係条例の整備に関する条例について

委員長
副委員長
委員

大下 正幸
玉重 輝吉
新田 和明
山本 優
熊高 昌三
金行 哲昭

安芸高田市上下水道料金改定に伴う関係条例の整備に関する条例

約10%UP
12月使用分から
施行決定!

概要

本案は安芸高田市上下水道料金の改定に伴い、関係する安芸高田市公共下水道条例、安芸高田市農業集落排水処理施設の設置及び管理条例、安芸高田市浄化槽整備施設の設置及び管理に関する条例、安芸高田市コミュニティ・プラントの設置及び管理条例、安芸高田市水道事業給水条例の一部を改正するもの。

質疑

金行 市の配慮で10%料金引き上げと認識しているが、将来の設備を考慮すると、20%の料金引き上げも検討する必要があると思うが。

浜田市長 20%が妥当であると答申があったが、市民の負担を考慮し10%値上げを行う。残り10%については、事務の合理化・行政努力により歳出削減へ取り組みことで対応を考えている。

新田 条例改正に伴い、災害被災者に対する減免等の措置規定することは。

平野上下水道課長 減免は要綱での整備となり、漏水の場合は現在検討中である。冬場の凍結で多量に漏水した場合や、床下での確認困難な漏水に、多額な請求をしたこともある。今回の料金改定において、減免要綱を整理し運用を考えていきたいと思っている。

上下水道料金審議会から答申があった全体での改定率20%UPを市の方針として10%UPの改定率とする

水道料金について



◆基本使用料（メーター使用料含む）の改定率を答申の半分の12.5%UP、基本料金には口径別の断面積を考慮する。超過料金は現行料金体系から8%UPとする。改定の効果は、年間料金収入の増加約4,000万円と一般会計繰入金（基準外）1,800万円の削減が見込まれる。

下水道料金について



◆基本使用料の改定率を答申の半分の5%UP、超過料金を現行料金体系から5円UPとする。改定の効果は、年間使用料の増加約3,500万円と一般会計繰入金（基準外）約3,500万円の削減が見込まれる。

○産業建設常任委員会は、台風20号の接近により災害対策本部が開設されたため、先進地視察は急遽中止としました。

13人が 一問一答 市政を問う

一般質問は発言者本人が文章を作成しています。



芦田 田んぼアート事業の進捗状況と運営主体、開催地選定、オフシーズンの集客など、5つの課題解決の取り組みを伺う。
市長 今年度、種もみ数種を調達し、美土里町の試験圃場で栽培を行っている。実際の圃場は道の駅近辺を候補地としている。運営主体やオフシーズンの集客などの課題は、今後組織する実行委員会を中心に検討する。



芦田 宏治 (無所属)

芦田 調査報告書によると、基盤整備費が約2億円。単年度収支は、運営収支シミュレーションでは田んぼアートの開催

田んぼアート事業

田んぼアート事業の進捗状況は
市長／種もみ数種を調達し美土里町で試験栽培を行っている



美土里町試験圃場で稲の生育状況を視察

期間が約5か月、年間来場者数が10万人と想定したとき、173万円の黒字と予測されているが、開催期間3か月、入場者数5万人の場合、営業収支は2031万円の赤字になる。収支計画を伺う。
市長 集客目標10万人達成に向け工夫し、今後具体的な収支計画も検討していく。

お太助フォン

新たなサービス導入は

市長／市民の利便性向上のため
検討を約束したい



新田 和明 (無所属)

インターネット回線の増強に向け準備中である。回線速度、品質改善を関係各所と調整中。さらなる向上を強く働きかけていく。

新田 若者中心のチームで、IoTの町づくりへの考えは。市長 光ネットにより、都会との距離が少なくなった。IoTの仕組みを勉強し、職員一丸となって考えていきたい。

※IoTとは、コンピュータなどの情報通信機器だけでなく世の中に存在する様々な物体に通信機能を持たせ、インターネットによって相互に通信すること。

あじさいネットについて

新田 インターネットが繋がりにくい等の対応については。市長 中国ブロードバンドサービスは、



市民広報のお役立ち機器「お太助フォン」

組織の充実と指導体制強化は

市長／必要性を感じていただく
取り組みを進める



宍戸 邦夫 (無所属)

宍戸 市内での組織数と組織率は。

市長 82組織で92%である。引き続き組織率100%を目指す。

宍戸 組織の充実と指導体制強化は。

市長 各組織が参考



自主防災組織による救急救命訓練

となる情報の提供と先進的な活動をしている組織を紹介する取り組みを進める。

ため池の安全点検・適正管理

宍戸 行政として防災の点から安全点検と管理者への適正管理要請が必要では。

また、改修など助成制度の拡充を検討すべきではないか。

市長 7月豪雨災害を受け、国が広島県内すべてのため池の現地調査を実施した。市としてこの調査

結果に基づき、管理者に適正な管理を要請していくことを検討する。改修など必要な助成制度の拡充は、国・県の動向を踏まえながら今後の課題として検討していきたい。

青原 今後の整備方針について。
市長 重点施策である子育て支援、若者定住から言えば、子ども達が安全・安心に遊べる整備された公園は必要であると考えており、公園の



青原 敏治
(無所属)

公園について

児童公園・農村公園について

市長／全て十分な整備・環境を整えるには



児童公園（向原町）

整備については、選択と集中、合理化を含め、地域資源を活用する仕組みを検討していきたいと思う。
青原 防災は、議員・市長・政治家にとつて永遠の課題。
市長 屋外スピーカーは利点もあると思うが、夜間または

屋外スピーカーの設置について

雨が降り続くなかでの情報発信であったことを考慮すると、効果については厳しいものがあつたものと考えている。議員指摘のとおり、有利な補助や起債などの情報は常に注視し、現時点では具体的な整備については検討していない。今後の課題としたいと思う。

玉井 7月豪雨災害の現在の状況は。
市長 災害に対しては復旧対策本部を設置し、復旧復興に向けて全庁挙げて取り組んでいるところ。大型土のうなどによる応急復旧は一通り完了し、二次災害を防ぐあるいは軽減するための応急処置は施している。本復旧に向けて現地の調査測量や設計を行い、災害査定を受けるための準備を進めている。



玉井 直子
(無所属)

7月豪雨災害

被災地の状況は

市長／復旧・復興に向けて全庁挙げて取り組む

玉井 被災者に今の状況、今後の計画などの説明の予定は。
市長 一般的な事項は、広報や回覧、お太助フォンなどで啓



被災翌日（7月7日）

発し、支所を含め、復旧対策本部全体で情報を共有しながらきめ細やかな対応に配慮していく。

玉井 自主防災組織の強化については。
市長 組織の実情把握を行い、活性化に努める。

○その他の質問
（その他の質問）
○農村振興について

防災

タイムライン策定が必要

市長／広島県と連携して作成したところ



金行 哲昭 (無所属)

金行 人の命が一番でタイムライン「事前防災行動計画」の策定が必要と考えるが。
市長 多治比川及び三篠川についても広島県と連携し、タイムラインを作成したところであり、地区では状況が異なり、基本的には河川ごとのタイムラインを参考にする。

学校現場の働き方改革は

金行 教職員調整額の支給を定めた給特法第3条があるが、労働時間超過勤務の把握はされているのか。

新学習指導要領

金行 新学習指導要領への移行は。教育長 スタート時に混乱をしないよう最善の取り組みを行っていく。

教育長

教員の健康管理や長時間勤務の縮減に向け、本市では勤務時間管理表により、適正な勤務時間の管理に努めている。

地区タイムライン様式 (A地区)

	5日前～3日前	3日前～1日前	1日前～12時間前	12時間前～3時間前	3時間前～発生
役場	・台風情報のお知らせ	・台風接近のお知らせ ・高齢者への呼びかけ依頼	・台風への注意喚起 ・消防団出動要請	・避難勧告・避難指示	
自治会 自主防災会	・地区の状況把握 ・防災資機材の確認	・住民に注意喚起 ・地区の見回り ・避難所開設準備	・早期避難の呼びかけ ・避難状況の把握 ・避難所開設・運営	・避難勧告・避難指示 ・発令の通知	対応完了 ↓ 撤退 (避難)
消防団			・道路・河川の監視 ・早期避難の呼びかけ	・避難確認・誘導	
民生委員		・避難行動要支援者へ ・早期避難の呼びかけ	・早期避難の呼びかけ ・避難状況の把握		
住民		・自主避難の準備	・福祉避難所・地区外 ・避難	・地区内避難	避難完了

【住民の避難時の対応】
 ○ 地区内避難者……持ち出し品(食料、貴重品、常備薬、他)の準備
 ○ 地区外避難者……持ち出し品(食料、貴重品、常備薬、他)の準備、避難先の確認、自治会(自主防災会)へ避難先の報告
 ○ 福祉避難所避難者……持ち出し品(食料、貴重品、常備薬、等)の準備、役場への依頼、自治会(自主防災会)へ避難先の報告

地区タイムライン様式

生活支援員制度について

市長／積極的に地域に出向き説明

安全・安心



前重 昌敬 (無所属)

前重 生活支援員の進捗状況と今後の取り組みについて。
市長 現在、市内21地域と協定を締結し、177人の方の支援を実施している。今後も積極的に地域に出向き、地域



生活支援員による見守り活動

の方々とは膝を交えて生活支援員制度を丁寧に説明することにより、市内全域の普及を進めたい。
前重 積極的に地域に出向き、説明をするべきでは。
市長 これまでの反省を含め、しっかりと説明していく。
前重 市民への情報提供が不足している

のでは。
市長 今後、出向いで説明、市広報、ホームページ等を活用し、また、職員への啓発も含め、徹底して情報提供をしていく。
 (その他の質問)
 ○ 地域包括ケアシステムの構築との関係について

山根 避難所運営における情報収集・発信・共有への考えは。
市長 気象情報など一般的な情報は備付けのテレビにて把握していただき、今後は情報があまぐ伝わるよう検討したい。情報共有



山根 温子
(無所属)

防災 **安全な避難所開設場所の指定は**
市長/現地を確認しながら早急に見直し、検討していきたい



熊野町民体育館に開設された避難所

では、外国人の問題などもあり、今後の課題としてしっかりと防災対策に生かしていきたい。

山根 市防災計画への今後の取り組みは。
市長 道の駅を防災拠点と位置づけ、災害警戒体制の修正や危険区域見直しに伴う避難場所の修正などを盛り込む予定。

**安芸高田市版
ネウボラについて**

山根 ネウボラ設置の取り組みは。

市長 現状の体制で切れ目のない包括的な支援を関係課と検討し、さらに内容を充実させる。

山根 包括的支援の壁となる個人情報対応については。

市長 これからの議論の中で決めていく。

学校運営

**コミュニティ・スクール
の取り組みについて**
教育長/来年度八千代町から
スタートしたい



秋田 雅朝
(無所属)

秋田 コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会制度を導入した学校であるが導入の意義と本市での取り組みの見解は。

教育長 現在の複雑・多様化している学校現場の課題を解決し、教育環境の充実には、保護者や地域の方が地域社会総がかりで教育体制の実現を図ることが重要である。現在、来年度からの導入に向けて準備を進めている。

秋田 来年度の導入に向けた具体的な内容と今後の見解は。
教育長 理想的には全市の小中学校での導入を望むが、中学校区を単位として考

えており、まずは八千代町からスタートと思っている。

**子どもの貧困
対策について**

秋田 本市の貧困状況の把握と今後は。
市長 実態調査を行ったが、その結果をもとに、第2次子ども・子育て支援計画において、貧困対策の検討を行う。



来年度からの導入が予定されている八千代中学校

書類申請について

現状と今後の対応は

市長／煩雑と指摘を受けている。様式を簡素でわかりやすくしていく



玉重 輝吉
(無所属)

玉重 高齢者から補助金等の申請手続きが大変困難との苦情を聞いている。現状と今後の対応は。

市長 高齢化が進む中、補助金等の申請手続きなど煩雑で手間がかかるものが多いと指摘を受けている。高齢者の方々ははじめ、様式を簡素でわかりやすくし、住民目線に沿った対応をしたい。また、『まごころ代行サービス』を現在行っている。

活用を促進し、高齢者の方々の申請などの事務職員一丸となつて取り組む。

若者定住について

玉重 職員の定住の

浜田市長の政策目標 【高齢者・障害者への対応】

職員による「まごころ代行サービス」の導入について

市長の政策目標を具現化するため様々な先進自治体の取組みを検討してきた結果、「職員（まごころ代行員）による事務代行（取次ぎ）サービス」を行政職員総体の取組みとして制度化することが、最も効果的かつ効率的であるとの認識に至りました。本市は、この手法により今後、質の高い住民サービスの拡充を図ります。以下、「まごころ代行サービス」の基本的事項は、次のとおりです。

1. 導入の趣旨

市職員が、一人で外出することが困難な高齢者や障害者等の交通弱者に代わり、住民票、戸籍簿・抄本、納税証明書等の代理申請や、市役所への提出書類の受領等行うこと、また身近な連絡や相談の相手となることにより、「直接顔が見えるサービスの提供」、「やさしく開かれた市役所づくり」等の観点から住民サービスの拡大を図ります。

「まごころ代行サービス」ぜひ、ご利用ください

現状は。
市長 特別職含み316人。率で84.7%。

玉重 若者定住でUターンを推進しているが、市長をはじめ、職員方の子ども達はUターンをしているのか。

市長 ご指摘は真摯に受けとめる。Uターンの仕組みづくりに努めたい。

第3セクターの運営について

市長／効率的、効果的な公共サービス提供を



熊高 昌三
(無所属)

熊高 神楽門前湯治村等4施設は厳しい経営状況との報告があった。各施設等を連動させ、PPPやPFIを活用しては。

市長 施設の廃止や複合化等の検討が生じる場合、民間から

(2) 観光振興施設における経済波及効果（定量的評価）

神楽門前湯治村 493,510千円 観光消費額 約304,000千円 生産誘発効果額 約109,000千円 雇用効果額 約80,510千円	たかみや湯の森 154,506千円 観光消費額 約92,000千円 生産誘発効果額 約15,000千円 雇用効果額 約47,506千円	エコミュージアム川柳 38,251千円 観光消費額 約22,000千円 生産誘発効果額 約6,000千円 雇用効果額 約10,251千円
土師ダムサイクリング 124,001千円 観光消費額 約77,000千円 生産誘発効果額 約32,000千円 雇用効果額 約15,001千円	取引事業者 20,502千円 雇用効果額 約20,502千円	波及効果額 830,770千円 観光消費額 約495,000千円 生産誘発効果額 約162,000千円 雇用効果額 約173,770千円

4つの観光振興施設における経済効果

提案を受けるのも手法の一つであり、効率的、効果的な公共サービスが可能な仕組みをつくるのは重要と考えている。

熊高 各施設のボイラー等の改修は、地域資源である木材を活用すべきでは。

市長 バイオマスボイラー導入は初期コスト、運営コストと材料の供給体制確立

※PPPとはパブリック（官）、プライベート（民）、パートナーシップ（連携）の略。
※PFIとはP（民間）、F（資金）、I（主導型）の略。

の検討が必要。
(その他の質問)
○7月豪雨災害対応について
○イエナプラン教育について

塚本 有害鳥獣捕獲班の活動状況と出動手順は。
市長 各町単位20名程度の班員で構成し、出動回数は年間179回で月平均15回程程度の出動である。出動手順は市民の皆様



塚本 近 (無所属)

有害鳥獣

捕獲対策は

市長／関係団体と連携を

塚本 捕獲員は狩猟法、銃刀法、火薬取締法などの法の規制の中で活動でありすべての要望に対応できないなか、市民への対応は。
市長 捕獲の中でも

から被害状況により、銃器かワナによる捕獲依頼を捕獲班にお願いしている。



民家近くに出没したシカ

銃器の使用に関しては、規制が非常に強く捕獲活動等注意が必要と考える。特に、人家の密集地域での対応は状況により銃器の使用によらず殺傷をお願いする。基本的には今後、捕獲班、市民、関係団体と連携を密にし、総合的に捕獲対策を継続していく。

芸備線早期復旧

鉄橋部分を除いた三次までの早期運行は市長／最大限の努力をする覚悟



児玉 史則 (無所属)

児玉 白木山、三次間の部分的な開通への要望は。

市長 全線早期復旧と部分的な開通も含め、要望活動を継続する。

児玉 市内高校の新生確保に影響があり、支援が必要では。
市長 生徒募集をかけるまでに、必要な支援を検討する。

小中学校のトイレの洋式化

児玉 洋式化を急ぐべきと考えるが。
教育長 洋式の割合は校舎が55%で低い状況にあり、変更を進める。



被災した芸備線の鉄橋

小中学校の熱中症対策

児玉 暑さ指数管理が必要では。
教育長 来年度までに基準を設け、各校に指示をしていきたい。

児玉 特別教室にはエアコンが未設置であり、導入が必要では。
教育長 設置すべく来年度予算で検討する。

「安芸高田市議会による地域懇談会」 結果報告

838件 の貴重なご意見をいただきました。
ご参加いただき、ありがとうございました。

今年の懇談会は、全議員が各町にお伺いしました。

参加者全員から多様なご意見をいただくことを目的に、意見を出しやすい雰囲気づくりに努め、グループにわかれて意見交換を行いました。ご意見を確実に議会に持ち帰るために付箋紙を活用したほか、各グループの意見をまとめて発表を行うなど、参加者同士の情報共有も図りました。昨年より参加者が少なかったものの、内容の充実した意見交換ができました。

【意見交換のテーマ】

- ・ 第1部：「まちづくりについて意見交換会」
- ・ 第2部：「自由な意見交換会」のテーマに沿って

各会場で多かった主なご意見等について、委員会別に掲載しています。

- ◎吉田 P 20 ◎八千代・美土里 P 21
- ◎高宮・甲田 P 22 ◎向原 P 23

吉田会場 (155件)

7月18日(水) 19:00~20:55
クリスタルアージュ 来場者29人

総務企画 (54件)	要望	土砂災害警戒区域の対応と多治比川の改修を。
	提案	子育て環境の充実と公園の整備が必要では。
文教厚生 (58件)	要望	通学路の安全確保のため、歩道等の整備を。
	提案	小・中・高が連携した教育行政を進め、子どもが市外へ流出することを防ぐ対策は。
産業建設 (43件)	要望	シカ・イノシシ・クマ・サル等、捕獲班の育成・支援をして、とにかく頭数の削減を。
	提案	百万一心の灯りを含め、郡山の整備をした観光振興を実行すべきでは。



八千代会場 (197件)

8月1日(水) 19:00~20:53
八千代文化施設フォルテ 来場者37人



総務企画 (78件)	要望	市内イベントは横の連携を密に。
	提案	若者定住のために遊休土地を有効利用しては。
文教厚生 (50件)	要望	子ども達の安心・安全のための通学路の整備が急務であり、早急な対応を。
	提案	高齢者の見守りを郵便局員や新聞の配達員にお願いしては。
産業建設 (69件)	要望	国道54号線の渋滞解消と、市道の整備を。
	提案	木の駅プロジェクトを拡張・推進しては。

美土里会場 (48件)

8月19日(日) 19:00~20:35
美土里生涯学習センターまなび 来場者9人

総務企画 (22件)	要望	奈良谷地区など携帯電話の電波が届かない地域への対応を。
	提案	支所機能の充実で地域活性化を図っては。
文教厚生 (12件)	要望	横田振興会に続く生活支援員制度の全域への早期構築を。
	提案	中学校統合について、市民提案を図っては。
産業建設 (14件)	要望	空き家対策の強化。鳥獣害対策として、捕獲班のさらなる活用・対応を。
	提案	住宅政策を活かした若者定住を積極的に実行しては。



高宮会場 (144件)

8月17日(金) 19:00~20:52
高宮田園パラッツオ 来場者28人



総務企画 (59件)	要望	運転免許返納者等対策と、お太助ワゴンの充実を。
	提案	地域の活性化のため、振興会へ地域おこし協力隊員を配置しては。
文教厚生 (37件)	要望	高齢者に優しい町づくりで、福祉の町づくりを目指した高齢者福祉政策の実現を。
	提案	どの学校もクラブ活動が難しくなっており、中学校の統合の話し合いを始めては。
産業建設 (48件)	要望	多種の鳥獣に対する対策を。罾の貸し出し、免許の簡素化を。
	提案	農業振興地域として、キャベツ団地等、圃場整備をさらに推進し、後継者育成の仕組みをつくっては。

甲田会場 (132件)

8月18日(土) 19:00~20:44
甲田文化センターミュージズ 来場者34人



総務企画 (49件)	要望	保育所・小学校統合後の跡地利用を明確に。
	提案	行政課題に対して、専門知識を持った市民を登録し解決しては。
文教厚生 (41件)	要望	産業廃棄物最終処分場の建設は絶対反対。
	提案	通学路の安全確保が必要では。(グリーンベルト、歩道の整備など)
産業建設 (42件)	要望	災害による河川の整備・対策を。
	提案	芸備線を活用して観光振興を進めては。

向原会場 (162件) 8月5日(日) 19:00~20:52
向原生涯学習センターみらい 来場者34人



総務企画 (62件)	要望	災害の復旧計画が誰にでも見えるように。
	提案	芸備線の早期復旧と、向原駅の活用で地域活性化を図っては。
文教厚生 (38件)	要望	高齢者(認知症等)、障害者の暮らしやすい町づくりを。
	提案	子どもが気軽に集える遊び場を設置しては。
産業建設 (62件)	要望	災害の早期復旧を。
	提案	道路・河川・水路の施設が古い。現状回復の改修ではなく、さらに進歩した整備をするべきでは。

まとめ

【参加者の感想】※来場者アンケート抜粋

- 雰囲気良く対話しやすかったので、次回もこの形式で行ってほしい。
- 一部の人の要望ばかり聞く会でなく素晴らしかったので、また参加したい。
- グループの意見をまとめて発表され、他の班のこともわかりやすく新しい形よかった。
- 意見・要望について検討した結果や進捗状況等を回答してほしい。
- 意見・要望は、反映し結果につなげてほしい。

【市議会の取り組み】

皆さまから出された要望・提案をもとに、9月定例会において一般質問や決算審査での質疑を行いました。緊急を要する課題として出されたJR芸備線の早期復旧については、意見書を議決し関係機関へ提出したほか、三次市・庄原市との連名で、JR西日本に要望書を提出しております。

現在、各委員会で課題別・部門別に優先順位を整理しており、11月中に整理を完了する予定です。12月から委員会構成が変わりますが、新体制のもと執行部とともに課題解決に取り組めます。

今後も市民目線に立った議会運営に努めていきますので、よろしくお願いいたします。

高校生と議会との意見交換会

高校3年生を対象として「まちづくりに参画する意識」や「選挙で投票する重要性の認識」を持っていただくことを目的に、グループに分かれて意見交換を行いました。地域課題について熱心に考えられた意見や要望は、参考になることがたくさんありました。

向原高校

6月27日(水)
14:30~15:20

テーマ

- 地域の課題または意見・要望
- 市長に立候補するなら、どんな公約にするか
- 今の社会で課題や問題と感じていること、期待や希望していること



- 【提案】** ○子育てしやすい環境や公園の整備が必要。
【公約】 ○活気の出るイベントや祭りを開催する。
【社会での課題・問題】 ○いじめや無差別殺人はいけない。

【要望】

- 若者が住みやすくなる政策も実現してほしい。

【感想】

- 人口減少の現実に驚いた。できることがあれば一緒に市を盛り上げたい。
- 将来のことを今から考え、選挙権を持ったなら意見しようと思った。
- 要望したことの実現を期待する。

吉田高校

9月5日(水)
15:30~16:20

テーマ

- 生活する地域からの提案及び質問

【要望】

- 毛利元就、サンフレッチェ、神楽をもっとアピールしてほしい。
- 働く場所をつくってほしい。

【感想】

- 貴重な体験で、地域の問題点や改善点が出てよかった。
- 市をよくするために自分から働きかけをしなくてはいけないと思う。



【提案】

- 公共交通の充実が人口増につながるのではないか。
- ショッピングモールがあれば、人を呼び込み市の活性化につながる。
- ジビエ料理をいろんなところで提供するべき。

議会のうごき 7月～9月の議会の主な活動状況

7月

- 9日 議会改革特別委員会
- 13日 全員協議会（臨時）
- 18日 地域懇談会（吉田）
- 19日 全員協議会
- 20日 議会広報特別委員会

8月

- 1日 議会広報特別委員会
地域懇談会（八千代）
- 5日 地域懇談会（向原）
- 7日 議会運営委員会
- 8日 議会改革特別委員会
- 17日 地域懇談会（高宮）
- 18日 地域懇談会（甲田）
- 19日 地域懇談会（美土里）
- 20日 全員協議会
道の駅整備調査特別委員会
- 21～ 総務企画常任委員会
- 22日 先進地視察研修
- 22～ 文教厚生常任委員会
- 23日 先進地視察研修
- 27日 北部ブロック議員研修会
- 30日 議会運営委員会

9月

- 5日 高校生との意見交換会
（吉田高校）
- 6日 第3回定例会（開会）
全員協議会（臨時）
議会広報特別委員会
- 7日 予算決算常任委員会
全員協議会（臨時）
総務企画常任委員会
産業建設常任委員会
- 10日 本会議（一般質問）
- 11日 本会議（一般質問）
- 13日 総務企画常任委員会
- 18日 文教厚生常任委員会
- 19日 産業建設常任委員会
議会運営委員会
全員協議会
- 20日 予算決算常任委員会
- 21日 予算決算常任委員会
- 28日 第3回定例会（最終日）
議会改革特別委員会



■30年第4回定例会は12月上旬から開会を予定しています

※詳細は、お太助フォンや市のホームページでお知らせいたします。

傍聴記

八千代町
平本和昭さん

9月10日安芸高田市議会一般質問を傍聴しました。市長に対し議員の皆様が色々な質問を交わしておられました。

災害が多発している関係で、防災に関する質問が初日だけで7件もありましたが、もう少しコンパクトにまとめる事ができたらと感じました。

また、事業が数え切れない程ありますが、限られた予算の中で道の駅（野菜市場など）、田んぼアート等の事業が進むと多額の費用がかかるので心配です。事業がうまくいくか少し不安に思いました。

地域のかがやき

吉田 力を合わせて オープニングパレード



吉田幼稚園運動会(10月7日)

八千代 天気に恵まれ大勢の 参加者でにぎわう



第15回安芸高田花火大会(8月25日)

美土里 26家族が楽しく稲刈り



広島市から体験農業(9月17日)

高宮 祝 ご長寿



高美園敬老会 上佐一心会(盆踊り)(9月2日)

甲田 夢!みんな元気にわいわい



第30回こうだわいわい祭 第50回商工祭(10月14日)

向原 世代間交流



向原こぼと園運動会(9月22日)

編集後記

本年、安芸高田市も含め、全国各地において自然災害により多くの方々が亡くなられ、自らの無力さを思い知らされるとともに、心が痛みます。亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。また、被害を受けられた方々もたくさんおられます。心よりお見舞い申し上げます。

この度の9月定例会におきましては、7月豪雨災害関連に要する費用、約27億円を可決致しました。

復旧工事も懸命に対応していただいておりますが、まだまだ時間が掛かり、被害を受けられた方々に、申し訳なく思います。議会も一致団結し、一日も早い復旧に取り組んで参ります。(玉重輝吉)

〈発行責任者〉

議長 先川和幸

〈議会広報特別委員会〉

委員長 山根温子
副委員長 玉重輝吉
委員 新田和明
 芦田宏治
 玉井直子
 前重昌敬